

発表年	タイトル	著者	機関	発表先
2015	海域地質環境調査確証技術開発 成果報告書	産業技術総合研究所	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	経済産業省 地層処分技術調査等事業
2014	内陸部における侵食速度の指標に関する検討：環流丘陵を伴う旧河谷を用いた研究	安江健一、高取亮一、谷川晋一、二ノ宮淳、棚瀬充史、古澤明、田力正好	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	地質学雑誌 Vol.120 No.12 pp.435-445
2014	海域地質環境調査確証技術開発 成果報告書	産業技術総合研究所	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	経済産業省 地層処分技術調査等事業
2013	高レベル放射性廃棄物処分場を対象とした隆起・侵食および気候・海水準変動による影響評価手法の検討－わが国における河川侵食による地形変化モデルの構築－	注連本英典、山口正秋、若杉圭一郎、柴田雅博	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JAEA-Research 2013-012
2013	日本列島における環流旧河谷分布データベースの作成	高取亮一、安江健一、谷川晋一、二ノ宮淳、棚瀬充史	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JAEA-Data/Code 2012-028
2013	海域地質環境調査技術高度化開発 成果報告書	産業技術総合研究所	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	経済産業省 地層処分技術調査等事業
2012	丘の対比・編年の信頼性向上のための風化指標の検討(その2)段丘礫の風化状態の把握と対比指標の適用条件の提示	濱田崇臣	一般財団法人 電力中央研究所	電力中央研究所 研究報告 N12007
2012	段丘の対比・編年の信頼性向上のための風化指標の検討(その2)－段丘礫の風化状態の把握と対比指標の適用条件の提示－	濱田崇臣	一般財団法人 電力中央研究所	電力中央研究所 研究報告 N12007
2012	海域地質環境調査技術高度化開発 成果報告書	産業技術総合研究所	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	経済産業省 地層処分技術調査等事業
2011	Consequence Analysis of Fluvial Erosion Scenarios for a HLW Repository	K. Miyahara, M. Kawamura, I.G. McKinley, M. Inagaki and T. Ebina	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	Journal of Nuclear Science and Technology Vol.48 No.7 pp.1069-1076

発表年	タイトル	著者	機関	発表先
2011	第四紀後期における内陸部の隆起量の推定手法：錦川流域および土岐川流域を例に	安江健一、田力正好、谷川晋一、須貝俊彦、山田浩二、梅田浩司	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	原子力バックエンド研究 Vol.18 No.2 pp.51-62
2011	Tectonic Tilting and Coseismic Subsidence along the Yoro Fault System Revealed from Upper Holocene Sequence in the Nobi Plain, Central Japan	Y. Niwa, T. Sugai, K. Yasue and Y. Kokubu	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	地形 第32巻 第2号 pp.201-206
2011	DEVELOPMENT OF METHODOLOGY FOR THE CHARACTERISATION OF THE LONG-TERM GEOSPHERE EVOLUTION (1)IMPACTS OF NATURAL EVENTS AND PROCESSES ON THE GEOSPHERE EVOLUTION OF COASTAL SETTING, IN THE CASE OF HORONOBE AREA	T. Niizato, H. Imai, K. Maekawa, K. Yasue, H. Kurikami, I. Shiozaki and R. Yamashita	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	19th International Conference on Nuclear Engineering (ICONE-19) 千葉市 Proceedings of ICONE19-43163 (CD-ROM)
2011	沿岸域における自然現象を把握するための調査・解析手法に係る既存情報の収集・整理	中安昭夫、新里忠史、安江健一、道家涼介、重廣道子、田中竹延、青木道範、関谷亜矢子	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JAEA-Research 2010-056
2011	土岐川(庄内川)流域の河成段丘と更新世中期以降の地形発達	田力正好、安江健一、柳田誠、古澤明、田中義文、守田益宗、須貝俊彦	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	地理学評論 Vol.84 No.2 pp.118-130
2011	Reconstruction of Holocene environmental changes in the Kiso-Ibi-Nagara compound river delta, Nobi Plain, central Japan, by diatom analyses of drilling cores	Y. Saegusa, T. Sugai, T. Ogami, K. Kashima and E. Sasao	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	Quaternary International Vol.230 No.1-2 pp.67-77
2011	Use of electrical conductivity to analyze depositional environments: Example of a Holocene delta sequence on the Nobi Plain, central Japan	Y. Niwa, T. Sugai, Y. Saegusa, T. Ogami and E. Sasao	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	Quaternary International Vol.230 No.1-2 pp.78-86

発表年	タイトル	著者	機関	発表先
2011	利根川支流、鎚川流域における飯縄火山起源の中期更新世テフラ	田力正好、高田圭太、古澤明、須貝俊彦	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	第四紀研究 Vol.50 No.1 pp.21-34
2011	河成段丘を用いた内陸部隆起量評価手法の適用性の検討－経験的指標を重視したアプローチ－	濱田崇臣、幡谷竜太	一般財団法人 電力中央研究所	電力中央研究所 研究報告 N10050
2011	河成段丘を用いた内陸部隆起量評価手法の適用性の検討－経験的指標を重視したアプローチ－	濱田崇臣、幡谷竜太	一般財団法人 電力中央研究所	電力中央研究所 研究報告 N10050
2010	Identifying Groundwater – and Slope Movement-induced Vegetation Conditions in a Landslide Area using Remotely Sensed Data	K. Koide and K. Koike	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	International Symposium on Earth Science and Technology 2010 福岡市 Proceedings of International Symposium on Earth Science and Technology 2010 pp.123-128
2010	地下水流動特性の長期的変化の推定に用いる表層水理に関する情報の整理	草野友宏、安江健一、竹内竜史、三枝博光、宮原智哉	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JAEA-Review 2009-079
2009	ポーリングコア解析と 14C 年代測定にもとづく木曾川デルタの形成プロセス	大上隆史、須貝俊彦、藤原治、山口正秋、笹尾英嗣	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	地学雑誌 Vol.118 No.4 pp.665-685
2009	Study on characterisation of Quaternary tectonic movement by uplift estimation using fluvial terraces	R. Hataya, M. Yanagida and M. Sato	一般財団法人 電力中央研究所	Stability and Buffering Capacity of the Geosphere for Long-term Isolation of Radioactive Waste: Application to Crystalline Rock, Workshop Proceedings, Manchester, United Kingdom, 13-15 November 2007, OECD/NEA No.6362, pp.217-225
2009	河成段丘の分布から見た内陸部の隆起特性評価－新潟県中越地域の例－	幡谷竜太、濱田崇臣	一般財団法人 電力中央研究所	電力中央研究所 研究報告 N08044

発表年	タイトル	著者	機関	発表先
2009	段丘の対比・編年の信頼性向上のための風化指標の検討－新潟県中越地域等に分布する段丘の観察・分析結果に基づいて－	濱田崇臣、幡谷竜太	一般財団法人 電力中央研究所	電力中央研究所 研究報告 N08063
2009	段丘の対比・編年の信頼性向上のための風化指標の検討－新潟県中越地域等に分布する段丘の観察・分析結果に基づいて－	濱田崇臣、幡谷竜太	一般財団法人 電力中央研究所	電力中央研究所 研究報告 N08063
2008	Study for Evaluation of the Influence of Long-term Climate Change on Deep Groundwater Flow Conditions: integration of paleo-climatology and hydrogeology	K. Yasue, H. Saegusa, H. Onoe, R. Takeuchi and T. Niizato	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	The 36th IAH Congress 2008 (富山市)
2008	Synthesizing geoscientific data into a site model for performance assessment: A study of the long-term evolution of the geological environment in and around the Horonobe URL, Hokkaido, northern Japan	T. Niizato, K. Yasue, H. Kurikami, M. Kawamura and T. Ohi	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	3rd AMIGO WORKSHOP ON APPROACHES AND CHALLENGES FOR THE USE OF GEOLOGICAL INFORMATION IN THE SAFETY CASE Nancy (France) Proceedings pp.222-234
2008	北海道北部, 大曲断層近傍の背斜成長の開始時期	石井英一、安江健一、大平寛人、古澤明、長谷川健、中川光弘	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	地質学雑誌 Vol.114 No.6 pp.286-299
2008	河床縦断形のシミュレーション	三箇智二、安江健一	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	地形 Vol.29 No.1 pp.27-49
2008	Postcollisional exhumation history of the Tanzawa Tonalite Complex, inferred from (U-Th)/He thermochronology and fission track analysis	K. Yamada and T. Tagami	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	Journal of Geophysical Research(Solid Earth) Vol.113 B03402 doi:10.1029/2007JB005368
2008	数値標高モデルを用いた段丘面形状の定量化と段丘対比への応用,	山本真哉、幡谷竜太、濱田崇臣	一般財団法人 電力中央研究所	電力中央研究所 研究報告 N07017

発表年	タイトル	著者	機関	発表先
2008	数値標高モデルを用いた段丘面形状の定量化と段丘対比への応用	山本真哉、幡谷竜太、濱田崇臣	一般財団法人 電力中央研究所	電力中央研究所 研究報告 N07017
2007	北海道北部、幌延地域における後期鮮新世以降の古地理と地質構造発達史	新里忠史、舟木泰智、安江健一	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	地質学雑誌 Vol.113[Supplement] pp.119-135
2007	気候・海水準変動が地下水流動に与える影響に関する解析的検討－北海道 幌延地域を例として－	今井久、塩崎功、山下亮、操上広志、新里忠史、安江健一、前川恵輔	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	ハザマ研究年報 Vol.39 pp.1-7
2007	Impacts of natural events and processes on groundwater flow conditions; A Case study in the Horonobe area, Hokkaido, northern Japan	T. Niizato, K. Yasue and H. Kurikami	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	Proceeding of an IGSC "Geosphere Stability" Workshop on Stability and Buffering Capacity of the Geosphere for Long-Term Isolation of Radioactive Waste: Application to Crystalline rock
2006	東海地方の中間温帯における中期更新世以降の植生変遷－内陸小盆地堆積物の花粉分析から－	守田益宗、神谷千穂、佐々木俊法、宮城豊彦、須貝俊彦、柳田誠、古澤明、藤原治、守屋俊文	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	季刊地理学 Vol.58 pp.123-139
2006	岐阜県東濃地方に分布する瑞浪層群土岐夾炭層の凝灰質砂岩のフィッション・トラック年代	笹尾英嗣、岩野英樹、檀原徹	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	地質学雑誌 Vol.112 No.7 pp.459-468
2006	東濃地方内陸小盆地堆積物の分析による過去 30 万年間の古気候変動	佐々木俊法、須貝俊彦、柳田誠、守田益宗、古澤明、藤原治、守屋俊文、中川毅、宮城豊彦	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	第四紀研究 Vol.45 No.4 pp.275-286.
2006	東濃ウラン鉱床でのナチュラルアナログ研究からみた古水理地質研究の役割	笹尾英嗣、岩月輝希、天野由記	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	資源地質 Vol.56 No.2 pp.125-132

発表年	タイトル	著者	機関	発表先
2006	河成段丘を用いた第四紀後期の隆起量評価手法の検討(2)－那珂川沿いに分布する河成段丘の層序－	幡谷竜太	一般財団法人 電力中央研究所	電力中央研究所 研究報告 N05016
2006	河成段丘を用いた第四紀後期の隆起量評価手法の検討(3)－過去10万年間の隆起量分布により明らかにされる内陸部の地殻運動	幡谷竜太	一般財団法人 電力中央研究所	電力中央研究所 研究報告 N05017
2006	新潟県魚沼丘陵北部の河成段丘の層序	幡谷竜太、柳田誠、山本真哉、佐藤賢、古澤明	一般財団法人 電力中央研究所	応用地質 第47巻 第3号 pp.140-151
2005	北海道北部幌延町における地球化学的特徴を用いた侵食量の推定	高橋一晴、新里忠史、安江健一、石井英一	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TN5400 2005-011
2005	地層処分からみた日本列島の隆起・侵食に関する研究	藤原治、柳田誠、三箇智二、守屋俊文	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	原子力バックエンド研究 Vol.11 No.2 pp.113-124
2005	幌延地域における地質環境の長期安定性に関する研究－長期安定性の評価・予測における地域特性の考慮－	新里忠史、安江健一	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	原子力バックエンド研究 Vol.11 No.2 pp.125-138
2005	地層処分から見た侵食作用の重要性－海成段丘を対象とした侵食速度の推定を例に－	藤原治、柳田誠、三箇智二、守屋俊文	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	原子力バックエンド研究 Vol.11 No.2 pp.139-146
2005	東濃ウラン鉱床におけるナチュラルアナログ研究－ウラン鉱床での隆起・沈降の変遷と隆起速度の見積もり－	笹尾英嗣、天野健治、太田久仁雄	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	原子力バックエンド研究 Vol.11 No.2 pp.167-179
2005	ポーリングコアの粒度組成と堆積速度からみた木曾川デルタの微地形と堆積過程	山口正秋、須貝俊彦、藤原治、大森博雄、鎌滝孝信、杉山雄一	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	第四紀研究 Vol.44 No.1 pp.37-44
2005	日本列島の地すべり地形－分布図からの考察－	柳田誠、藤原治、久保田義博、三箇智二、清水長正、佐々木俊法	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	駒沢地理 No.41 pp.61-77 2 sheets

発表年	タイトル	著者	機関	発表先
2005	河成段丘を用いた第四紀後期の隆起量評価手法の検討 (1)一段丘対比の考え方の提案と河成段丘の編年に関わるケーススタディー,	幡谷竜太	一般財団法人 電力中央研究所	電力中央研究所 研究報告 N05005
2005	宮城県川崎盆地における海洋酸素同位体ステージ6河成段丘の認定とその意義,	幡谷竜太、柳田誠、佐藤賢、佐々木俊法	一般財団法人 電力中央研究所	第四紀研究, 第44巻, 第3号, pp.155-167
2004	地質環境の長期安定性に関する情報基盤の整備	梅田浩司、野原壯、藤原治、浅森浩一、木下博久、中司昇	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TN7400 2004-004
2004	隆起・沈降量解析のための地層の堆積相調査	布施圭介	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-088
2004	海水準変動の地質環境への影響調査(3)	布施圭介	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-022
2004	地殻変動のシミュレーションに関する研究(3)	小坂部和也	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-085
2004	精密数値地図を用いた構造弱線の抽出作業	三箇智二	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-053
2004	地形発達シミュレーションに関する作業(4)	三箇智二	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-096
2004	東濃地域の地形発達史に関する調査	柳田誠、佐々木俊法、佐藤賢	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-104
2004	Sedimentological time-averaging and ^{14}C dating of marine shells	藤原治、鎌滝孝信、増田富士雄	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	Nuclear Instruments and Methods in Physics Research B, 223-224, 2004, pp.540-544
2003	古地磁気学的手法を用いたテクトニクスの復元に関する基礎研究	伊藤康人	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7400 2002-012

発表年	タイトル	著者	機関	発表先
2003	地殻変動のシミュレーションに関する研究(2)	藤枝忠臣	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-086
2003	海水準変動の地質環境への影響調査(2)	布施圭介	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-064
2003	地形発達シミュレーションに関する作業(3)	三箇智二	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-084
2003	地形の従順化係数に関する調査, 1	柳田誠、佐々木俊法	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-046
2002	地殻変動のシミュレーションに関する研究	藤枝忠臣	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7400 2002-005
2002	古地磁気学的手法を用いたテクトニクスの復元に関する基礎研究(平成13年度)	伊藤康人	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7400 2005-055
2002	永久凍土が地質環境に与える影響調査	和田一成	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-092
2002	海水準変動の地質環境への影響調査(1)	布施圭介	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-015
2002	地すべり地形判読技術に関する調査	柳田誠、佐々木俊法	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-103
2002	丘陵の地形変化速度に関する調査	柳田誠、佐々木俊法	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-059
2002	東濃地域を対象とした精密数値地図作成作業	三箇智二	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-081
2002	地形発達シミュレーションに関する作業(2)	三箇智二	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-082
2001	日本列島における侵食速度の分布(CD-ROM版)	藤原治、三箇智二、大森博雄	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TN7410 2001-015

発表年	タイトル	著者	機関	発表先
2001	丘陵の地形変化に関する調査	柳田誠、佐々木俊法	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-021
2001	内陸部の隆起に関する調査	高野豊治、布施圭介、齊藤晃、佐藤好一	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-100
2001	地滑り特性に関する情報収集および GIS 化作業	柳田誠、佐々木俊法	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-061
2001	地形発達シミュレーションに関する作業(1)	三箇智二	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-083
2001	永久凍土が地下水流動に与える影響調査	大地正高	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-102
2001	Tsunami deposits in Holocene bay mud in southern Kanto region, Pacific coast of Central Japan	藤原治、酒井哲弥、入月俊明	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	Sedimentary Geology 135 2001 pp.219-230
2001	千葉県九十九里浜平野の完新統の発達過程	藤原治、鎌滝孝信、荒谷忠、田村亨	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	第四紀研究 40 3 2001 pp.223-233
2001	房総半島九十九里浜平野の海浜堆積物から求めた過去 6000 年間の相対的海水準変動と地震隆起	藤原治、酒井哲弥、荒谷忠	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	地学雑誌 110 5 2001 pp.650-664
2000	侵食プロセスに関する調査	柳田誠、佐々木俊法	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構 研究開発報告書類 JNC-TJ7420 2005-058
2000	河岸段丘から推定した河床高度変化の歴史	高木俊男、藤原治	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	地学雑誌 109 3 2000 pp.366-382
2000	中部更新統下総層群藪層から復元された砂嘴 -内湾システム	鎌滝孝信、佐藤弘幸、中里裕臣	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	堆積学研究 52 2000 pp.63-74
2000	房総第四系の二枚貝類を中心とする陸棚底生群集の再評価、特に貧化石層に含まれる低多様度の群集について	鎌滝孝信	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	第四紀研究 40 3 2000 pp.259-265

発表年	タイトル	著者	機関	発表先
2000	日本列島における最終氷期最寒冷期の気候	松末和之、藤原治	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	サイクル機構技報 6 2000 pp.93-104
1997	地殻の力学的安定性評価	河野愛	公益財団法人 原子力環境整備促進・資金管理センター	原環センタートピックスNo.40